



公約実現にむけ区議会で奮闘！ 日本共産党 中学校の全特別教室にクーラー設置が実現

前倒して6月工事、7月から快適授業

日本共産党区議団が求めてきた小中学校普通教室に続き全ての特別教室へのクーラー設置が実現しました。

昨年5月には26の小中学校を訪問し、同年6月の本会議で「暑い時期を迎える前に設置して欲しいとの要望に応えるべき…前倒して実施を」と求め、区側は「早急に使用できるような設置する」と答弁していただきました。

今年6月本会議で福手議員の「設置工事の状況は？」との質問に、教育長は「6月末で工事完了する」と回答。実態調査や議会論戦により工事が早まりました。

一中	8教室
三中	7教室
八中	7教室
九中	9教室
十中	7教室
文林	9教室
本郷台	4教室



左より、金子、こうだ、いたくら、島元、関川、福手、まんだち区議＝議場にて

柳町小増築問題、35人学級、保育士処遇改善の請願採択！ 自・公は反対

今議会では、児童の増加で校舎を増築する柳町小学校の保護者や地域、歴代PTA会長等から出された、柳町小校庭面積を維持することを求める4請願が、共産・未来・市民の賛成で採択されました。心の拠り所の「やなぎの森」を守れという声を計画に反映するか、文京区の対応が注目されます。

他に、「新日本婦人の会」からの「35人学級を全学年に拡大する」ことを求める請願、保育士の処遇改善を求める請願が、共産・未来・市民の賛成で採択されました。自公は一貫して区民の声に背を向けました。

日本共産党区議団(7名)副議長を主張 議長は自民・副議長は公明に

4月の区議選の結果、自民9、共産7、公明5、民主4、諸派・無9と、議席増は自民と共産のみ。民主は、維新や無所属議員から10人会派「ぶんきょう未来」を結成し、今後は議案等には「是々非々」で臨むと表明。

共産党は、「未来」については今後の動向を注視し、議長は「白票」を投じ、副議長選は第二会派となった共産から出すことを表明。投票結果、議長は自民(白石氏)、副議長は公明(松丸氏)と決しました。

中学校教科書採択について

教育委員会の教科書採択の方針は公正かつ適正としています。

文教委員会では、「太平洋戦争は自存自衛の戦争であった」等、育鵬社や自由社の歴史教科書は事実と異なる記載があり、子どもたちが学ぶ教科書にはふさわしくない、教科書を使用する教師や子どもたちの声を一番大切にすべきと要望しました。

待機児童過去最高に庭のある保育所を

今年4月、どの保育も受けられない児童は昨年の104人を上回る132人とさらに深刻です。自治体には保育の実施義務があり(児童福祉法24条1項)、認可園を希望しながら認可外(認証、保育ママ、幼稚園預かり等)の保育を受けている児童を



加えた449人と新規申込者に対し、認可園を用意する責任がありますが、新設計画は3園で定員220人程度です。同時に、保育条件はどの子にも平等である必要があります。区は、取得した外務省宿舍跡地(千石3)に来年度誘致する私立園の事業者募集で園庭設置を条件にします。引き続き、園庭やプールのある認可園を求めていきます。

区政情報

シビック改修計画

外壁等の調査・改修が進行中のシビックセンター。区は大規模改修の基本計画を策定します。試算で248億円かかるという改修の全容をきちんと区民に説明すべきです。学校や区施設改修を後回しにしてはなりません。

春日後楽園駅前再開発

178億円の税金投入となる超高層の再開発計画は、9月着工の告知板が出されました。「仮住まい・仮店舗が決まっていない」という地権者の声。風害や日照、交通への影響が懸念されます。

シルバーピア申込方法変更

区は来年度をめどに、シルバーピア入居者選定方法を変更すると報告。「抽選」を廃止し「ポイント制」にし、年齢、所得、居住年数、住宅状況等を勘案し、住宅困窮度の高い人から入居しやすい方法を検討しているとのこと。日本共産党区議団は公営住宅の増設と合わせ行うべきだと提案しました。

使用料などまた値上げに

育成室1万円、幼稚園1万3千円を提案

6月の総務区民委員会で「使用料、手数料の改定の考え方」が報告されました。3年前、財政の健全化と「受益者負担」を理由に、いっせいに施設使用料や駐輪場料金(3年間で12倍)、育成室・幼稚園保育料が上げられました。「3年ごとに見直す」と、消費税増税の転嫁を理由に来年度から更なる値上げです。

現行料金が区の使用料案より低い場合は、

上限20%でどんどん値上げされ、その結果、区民施設の使用料は軒並み100~200円、シビックの区民会議室は最高800円の値上げです。さらに育成室保育料は月額1万円、幼稚園は13,000円が提案され、「子ども子育て会議」で検討が進められます。

区は9月にも条例改定を予定しています。「値上げストップ!」の声をあげましょう。



元町公園・旧元町小の保全活用 地元・区民意見を取り入れよ

有識者が一年かけて検討していた元町公園・旧元町小学校の保全・有効活用に関する提言が、六月の総務区民委員会で議論されました。提言では、関東大震災の復興小公園・小学校52のうち当時の姿を伝える唯一のもので、区が歴史性、防災性、公共性に配慮した保全活用を具体化するよう期待しています。しかし区は、区としての方針やビジョンも示さず、年内に事業者プロポーザルの検討、年明けに公募、そして選定、設計、30年度に工事着工と発表。これに対して「地元無視も甚だしい」と地元町会から、区長、議長に抗議文が出されました。区は、区民意見を充分に取り入れ保全と活用の具体案を責任もって示すべきです。

朗報 国有地の活用で特養ホーム整備!

新たな特養ホーム建設に向け、総合福祉センター北側台地の財務省小日向住宅跡地(約7100㎡・写真)を取得するため、区は国との協議を開始しました。また、難航していた春日2丁目の旧建設省宿舍跡地は、区が取得し100床規模の特養を計画しています。2017年4月開設予定の旧教育センター跡地(春日)の116



床に次ぐ計画ですが、500人を超える待機者の願いに応えるために、新たな用地確保が課題でした。茗荷谷の都バス車庫跡地も特養など区が活用するよう求めています。